

むらた歯科通信

No.12 April

発行年月日
2015年4月1日

発行人
むらた歯科クリニック

今の特集

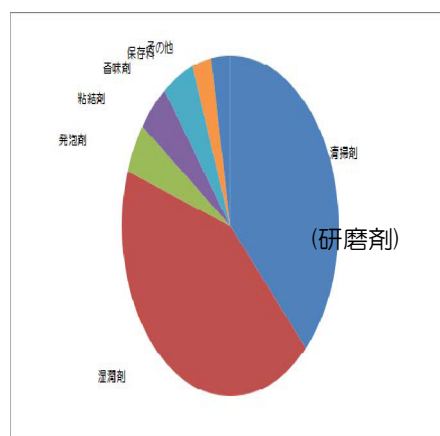
歯磨剤の成分について

歯磨剤の 基本成分



歯磨剤は様々な役割を持つものが組み合わせられて出来ています。その割合は歯磨剤の種類によって大きく異なります。

何もつけずに歯磨きをするよりも歯磨剤をつけて歯磨きをする方が歯垢が付きにくくなることが研究により明らかになっています。



歯磨剤の基本成分の組成の一例

歯磨剤の薬用成分について

歯磨剤のほとんどには薬用成分が含まれています。代表的な薬用成分と効能についてまとめてみました。

むし歯を予防する

フッ素(フッ化Na、モノフルオロリン酸Na、フッ化第一スズ)

歯の再石灰化を促したり、虫歯菌の酸を作りだす力を弱めたりします



歯肉炎・歯周病を予防する

グルコンサンクロールヘキシジン、I P M P、トリクロサンなど
→歯周病菌を殺菌します

トラネキサム酸、ポリリン酸Naなど
→歯ぐきからの出血を抑え、炎症を鎮めます

塩化ナトリウム、ビタミンE
→歯ぐきを引き締めたり血行を良くします

歯垢を付きにくくする

デキストラナーゼ
→虫歯菌が餌を取り込もうとするのを防いだり、酸を作る力を弱めます

歯面の着色を除去する

ピロリン酸Na、ポリエチレングリコールなど
→着色の元と歯面との結合を切り離したりヤニを溶かします

知覚過敏をやわらげる

硝酸カリウム
→歯の神経を鈍らせて歯をしみにくくします
乳酸アルミニウム
→歯の神経に続く管(象牙細管)を埋めて歯をしみにくくします



口臭を予防する

クロロフィル
→緑茶に多く含まれ、口臭の他に体臭・加齢臭にも効果があるとされています

その他

ヒノキチオール、シトラール
→殺菌・抗菌作用がある天然素材です

歯磨剤の効果的な使い方・注意点

フッ素入りの歯磨剤
→磨いたあとゆすぎ過ぎると、フッ素がお口の中に残らなくなり虫歯予防の効果が薄れます。少ない水で1~2回ゆすいだ後一時間くらいは飲食をしないようにするとよいでしょう。

知覚過敏用の歯磨剤
→効果はすぐに現われなかったり、症状が治まっても使用をやめると再び症状が現われてくるため、継続した使用が必要になります。根気よく使い続けましょう。

クロルヘキシジン入りの歯磨剤
→長期間使い続けると歯の着色や味覚の変化が起こることがあります。

歯磨剤は上手に使いえばお口の健康を保つ頼もしいパートナーになります。
丁寧な歯磨き + お口の状態にあった歯磨剤を使って、健康な歯と歯ぐきを保ちましょう！

祝 むらた歯科クリニック 開院一周年

2015年4月2日、むらた歯科クリニックは開院一周年を迎えました。私たちはよりよい歯科医療を提供できるよう、日々努力を続けていきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

むらた歯科通信もよろしくお願いいたします♪院内だけでなく、おうちでじっくり読んでもらえるようにバックナンバーも沢山ご用意しています

